

回 覧												

大分西部地域まちづくりビジョン フォローアップ会議 通信 第1号

この通信は、7月29日に開催した「西部地域まちづくりビジョン」フォローアップ会議の内容についてお知らせするとともに、地域の現状や将来像について共有していただくことを目的としています。

フォローアップ会議とは

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、地域が目指すまちの将来像（ビジョン）やその実現に向けた取り組みをまとめた地域まちづくりビジョンを策定し、昨年7月に市長に提言しました。

フォローアップ会議では、ビジョンの実現に向けて市民と行政が一緒にまちづくりを進めるため「行政に望むこと」「地域や私たちができること」をテーマにビジョンに掲げる事業の進捗状況を報告しその進め方や課題などの情報共有、意見交換を行います。

発行：令和元年11月1日 大分西部地域
まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

大分西部地域まちづくりビジョン

フォローアップ会議を開催しました。

令和元年7月29日(月)19:00

大分西部公民館 研修室2

～議事～

- ① 会議の公開について
- ② 地域まちづくりビジョンについて
- ③ フォローアップ会議について
- ④ ビジョンに掲げる事業の進捗について
- ⑤ 意見交換
- ⑥ 今後の予定について

■ 地域まちづくりビジョンに掲げる事業の進捗について(抜粋)

事務局から大分西部地域まちづくりビジョンの概要について説明を行いました。

提言1：暮らし/住み続けたい地域、住んでみたい地域づくり

【顔の見えるまちづくり事業】

- 現在、地域と行政とが連携をとり「夕やけ小やけのまちづくり」「春日まつり」「おおみち竹明かり」「竹炭による祓川浄化活動」等の様々な取り組みを進めている。(地域・行政)



竹炭づくり



おおみち竹明かり

【子育て支援事業】

■西の台校区などでは、青少協が中心となり小学生の登下校時の見守り活動を実施している。(地域)

【郊外型住宅地開発事業】

■市ホームページで空き家や空き地の情報を紹介するほか、空き家の改修費の補助等で空き家の利活用の促進を図っている。(行政)

【鉄道残存敷の利活用事業】

■地元説明会での意見を参考にし、基本計画の策定を行っている。(行政)

春日校区では鉄道残存敷に「花いっぱい運動」として毎年芝桜の植栽を行っている。(地域)



登下校時の見守り活動



芝桜の植栽

提言2：観光/地域資源を最大限に生かした観光振興

【西大分を拠点とした学びと遊びの創造事業】

■平成30年度に策定した「大分市西部海岸地区魅力創造拠点施設形成基本構想」に基づき今後「憩い・交流拠点施設」の整備など構想の実現化に向けた施策に着手していく。(行政)

提言3：教育・スポーツ/豊かな自然環境での教育、スポーツ交流の推進

【心豊かな子どもを育てる自然・海洋教育事業】

■田ノ浦ビーチ清掃活動など自然環境を守る取り組みを行っている。

大分県ライフセービング協会による小中学生対象の海洋教室の開催。(地域)

【スポーツ交流事業】

■利用者の要望にもとづき今後、西部スポーツ交流ひろばの芝生化を進めていく。(行政)



田ノ浦ビーチ清掃活動

～お知らせ～

□「ふれあい市長室」の開催について

日時：11月22日(金) 19時から 場所：大分西部公民館 2階 集会室

フォローアップ会議の内容を報告する「市民報告会」を兼ねた「ふれあい市長室」を開催し、地域住民からビジョンや市政全般に対する意見、提言を幅広く伺い、相互理解を深め、市民と行政との一体感を醸成します。

□「地域まちづくりビジョンシンポジウム」の開催について

日時：11月23日(土) 13時30分から 場所：コンパルホール 3階 多目的ホール

「地域まちづくりビジョン」の実現に向け、様々な世代の市民の皆様と協力しながら取り組む体制づくりが必要であり、このたび、子育て世代や若者が中心となって活動してもらえよう、機運の醸成を図ることを目的にシンポジウムを開催します。

★意見交換の主な内容(抜粋)

★生活様式の変化から学校施設が現在の生活様式に合わなくなっている。トイレなどは和式から洋式にするなど使いやすく改修することにより子どもが健やかに育つ条件、環境が整うと思う。

[市教育委員会も現在洋式化への改修を進めている]

★少子・高齢化が進む一方で人口が地方から都市に流出していく問題は、国や県としての大きなとらえ方をしたほうがよいのではないかと考えている。



★人口の問題は政府・国の問題だと思っています。地方は子どもを育て、子どもが成長し大人になると都会へ出て行く。地方は過疎化していく。国の抜本的改革がなければ地方の少子・高齢化の問題解決は難しい。[西部地域のまちづくりビジョンの根底にしっかりこの人口減少化を据えて進めていく]

★各校区に地域スポーツクラブがあり活発に活動しているが、それらのクラブで連携して地域総合型のスポーツクラブにはなっていない。ビジョンの提言としてそのような形にもっていけないものだろうか。実際に各校区で活動拠点としてのスポーツクラブはあるわけだからそれを生かす方法が考えられると思っている。[まずは、地域・校区のそれぞれの活動状況について情報収集していく]

★南海トラフ地震が起こった場合、観光等で大分へきている方が別大国道内での避難場所が分からないという事が考えられる。誰でもすぐにわかる避難所や避難案内が早急に必要。

[津波などの災害時には、近くの高台に避難できるよう案内表示などの誘導を検討していく]

その他にも災害時の水道タンクの安全性など多くのご意見をいただきました。

●整理・総括(今後に向けて)

○今回が地域ビジョン提言後の初めての会議となりました。

本地域で取り組むとした15の事業は、既に取り組まれているものから、近い将来に具現化を図るもの、あるいは、長期的な展望のもと地域と行政がしっかり連携して取り組まなければならないものなど様々です。

○そのため、この地域でどのようなイベント・地域活動等が行われているのか、まずは情報を収集し、これを広報することによって西部タウン（春日町校区、大道校区、西の台校区、八幡校区、神崎校区）に関心を深めてもらい地域連帯感を高めていきたいと考えています。

○今後も定期的なフォローアップ会議の開催を通じ、地域と行政の協働のもと、将来像の実現に向けて歩みを進めていきます。



春日まつり



神崎 伝統行事継承

大分西部地域ではビジョンとして

「自然と文化が共存 心躍る西部タウン」

を掲げ、以下の4つの提言を柱に15の提案事業に取り組んでいます。

提言1「暮らし/住み続けたい地域、住んでみたい地域づくり」関連7事業

1. 顔の見えるまちづくり
2. 子育て応援
3. 老人会を元気にする
4. 買い物弱者支援
5. 郊外型の住宅地開発
6. 若年層の雇用活性化
7. 鉄道残存敷の利活用

提言2「観光/地域資源を最大限に生かした観光振興」関連4事業

8. 柞原八幡宮を核とした歴史観光PR
9. 西大分駅商店街再生
10. 西大分を拠点とした学びと遊びの創造
11. 外国船を呼び込む港づくり

提言3「教育・スポーツ/豊かな自然環境での教育、スポーツ交流の推進」関連2事業

12. 心豊かな子どもを育てる自然・海洋教育
13. スポーツ交流

提言4「防災/巨大地震の発生に伴う津波への備え」関連1事業

14. 別大国道に防災拠点となる立体駐車場整備

共通

15. 行政と話す場づくり